

No.90 2024年4月5日



## マウントフジ 100 は新たな名前で世界から 3400 人の選手を 迎えて 4 月 26 日、27 日に開催

- FUJI100mi と KAI70k の二つのレースを開催する Gran Canaria World Trail Majors の第 3 戦
- 時間とともに移り行く富士山の姿を眺めながら走るレースに 34 の国・地域から 3400 人が参加
- 富士山麓を走るコースはトレイルの厳しい登り下りとスムーズな走れる路面のスピードのバランスを求められる
- FUJI100mi については大会会場やコース上からの映像に解説を交えたライブ番組を日本語と英語で配信予定

**マウントフジ 100 Mt. FUJI 100**（旧称 ウルトラトレイル・マウントフジ ULTRA-TRAIL Mt. FUJI）は 10 回目となる大会を 4 月 26 日（金）、27 日（土）に開催します。富士山麓の山、森、街を駆け抜ける距離 166.6km、累積標高 7,039m の「FUJI100mi」（フジ 100 マイル）と、そのコース後半にあたる距離 69.4km、累積標高 3,493m の「KAI70k」（カイ 70k）の二つのレースに 3,400 人の選手が参加します。日本を代表する国際的なトレイルランニング・イベントの開催地として、富士山周辺エリアの各地は世界の 34 の国と地域から集まるトレイルランナーやその家族を迎え、今回の大会の副題である「Emotional Discovery」（感動的な発見）の舞台となります。

### マウントフジ 100 はグランカナリア・ワールドトレイルメジャーズの一員に

今年の大会は新たな大会名のマウントフジ 100 として初めて開催されます。加えて国際的なトレイルランニングシリーズである「Gran Canaria World Trail Majors」（グランカナリア・ワールドトレイルメジャーズ）の一員として初めて開催される大会でもあります。



グランカナリア・ワールドトレイルメジャーズは、マウントフジ 100 もその設立メンバーとなって 2023 年 11 月に設立されました。トレイルランニング大会の多様性やアイデンティティ、そして開催地の自然と文化をリスペクトするという価値観を共有する世界の各地のトレイルランニングが立ち上げた非営利団体であり、現在は 10 の大会が参加しています。

グランカナリア・ワールドトレイルメジャーズの詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。 <https://worldtrailmajors.com/>



© Fuji Hakone Izu Trail Support

## 始まりは世界に誇れるトレイルランニング大会を日本に作りたいという情熱

富士山は日本の豊かな自然と精神的な文化を象徴する存在です。その富士山の麓で 100 マイルに達するトレイルを昼夜をまたいで走り続ける大会を発想したのは、大会会長の鍋木毅でした。黎明期の日本のトレイルランニング界で数少ないプロアスリートとして、UTMB に全身全霊を込めて挑戦していた鍋木は「この感動的な舞台を富士山で実現したい」という夢を抱きます。

当時は 1000 人を超えるランナーが参加して丸二日間にわたって開催される大会は日本にはなく、夢の実現には多くの苦難が伴いました。しかし、鍋木の夢は仲間たちを衝き動かし、2012 年に第一回大会が実現します。以来、マウントフジ 100 は日本を代表するトレイルランニング大会として成長します。国内のトレイルランニング・ファンにとっては自らの限界に挑戦し、可能性を試す機会として人気を集めています。

大会の人気は海外にも広がり、多くの海外の有力選手が参加するハイレベルなレースとして世界に注目されるようになりました。100 マイルのレースでは 2014 年に男女それぞれのレースで優勝したフランソワ・デンヌ François D'Haene（フランス）、ヌリア・ピカス Núria Picas（スペイン）が国際的なレースサーキットである UTWT（ウルトラトレイルワールドツアー）の年間チャンピオンとなりました。

昨年の 2023 年に中国のチョウ・ジアジュ Jiaju Zhao とシャン・フージャオ Fuzhao Xiang が男女それぞれで優勝したことはアジアにおけるトレイルランニングの人気の高まりを象徴する出来事でした。今回の 2024 年大会では中国、香港、タイ、韓国の 4 つの国と地域からの参加者は 300 人を超えています。

10 回目の大会開催にあたり、大会会長の楠木は「大会が仲間や家族との繋がり、世界中の方々との交流の機会となることを希望します。そして壮大なトレイルランニングの旅を通じてまだ知らない自分自身を発見することの魅力も、社会に広く伝えてゆきたいと思います」と話しています。



© Fuji Hakone Izu Trail Support

## 生きた火山である富士山を囲むコースは変化に富んだチャレンジングなコース

マウントフジ 100 のコースとなるのは日本の最高峰である富士山を取り囲む山麓のエリアです。最後の噴火から 300 年しか経っていない荒涼とした山頂エリアに対して、山麓エリアは豊かな緑に覆われた山や森、澄んだ湖が点在するトレイルランニングの楽園です。一方、富士山は古く

から偉大な自然の象徴として信仰の対象とされており、山麓には日本中から集まる参詣客をもてなす町が繁栄しました。コースの合間に現れる街並みからはそうした歴史も感じることができるかもしれません。

トレイルランニングのコースとしてみたマウントフジ 100 の特徴について、2016 年と 2018 年のチャンピオンであるディラン・ボウマン Dylan Bowman (アメリカ) は「フラットで走れる部分と厳しい登りや下りが長く続く部分が交互に現れるのがマウントフジのユニークなところ」とコメントしています。急斜面の岩や木の根の上を登り下りした後は、起伏の小さいトレイルや舗装路が長く続くため、選手は単なる走力だけでなくペース配分のバランスも求められることになります。



© Fuji Hakone Izu Trail Support



© Fuji Hakone Izu Trail Support

## 世界から有力選手が集結

今回のマウントフジ 100 にも海外、国内の有力選手が集まります。FUJI100mi には 2018 年のチャンピオンであるコートニー・ドウォルター **Courtney Dauwalter** (アメリカ) が 6 年ぶりに参加します。昨年は UTMB での三度目の優勝に加えて、Western States と Hardrock 100 でいずれも大会新記録で優勝という偉業を成し遂げました。最強の女性トレイルランナーとして世界にその名を馳せるドウォルターは今年 2 月にワールドトレイルメジャーズのレースである Transgrancanaria で二度目の優勝をしたばかりです。アメリカからは 2022 年の Javelina Jundred 100 で 3 位、昨年の Bandera 100k で 2 位などアメリカのウルトラランニングで活躍するニコール・ビター **Nicole Bitter** (アメリカ) もエントリーしています。香港からは昨年の TransLantau by UTMB の 100km で準優勝、今年 1 月のワールドトレイルメジャーズ開幕戦である Hong Kong 100 の 100km で 7 位のウォン・キチュン **Ki Chun Wong** (中国香港) にも注目が集まります。

迎える日本の選手では昨年のこのレースで 3 位の**大淵千鶴 Chizuru Ofuchi**、4 位の**細川由美 Yumi Hosokawa**、10 位の**枝元香菜子 Kanako Edamoto** や 2022 年に準優勝の**矢野淳子 Junko Yano** がスタートラインに並びます。昨年初めての 100km 超のレースとなる信越五岳トレイルランニングレースの 110km で優勝して注目されている**清宮由香里 Yukari Seimiya** は初めての 100 マイルへの挑戦となります。

FUJI100mile の男子では昨年の Transgrancanaria Classic で優勝した**アンドレウ・シモン Andreu Simon Aymerich** (スペイン)、2019 年のグランレイド・レユニオンで優勝の**グレゴワール・キュルメール Gregoire Curmer** (フランス) がヨーロッパから参戦します。中国からは今年 1 月の Hong Kong 100 100km で 4 位の**チン・グイドウ Guidu Qin** や同じレースで 5 位の**デン・グオミン Guomin Deng**、昨年の TransLantau by UTMB 50km で優勝した香港在住の**ジョン・レイ・オニファ John Ray "Stingley" Onifa** (フィリピン) がエントリーしています。

日本勢では FUJI100mi で昨年準優勝の**川崎雄哉 Yuya Kawasaki**、3 位の**鬼塚智徳 Tomonori Onitsuka**、4 位の**万場大 Hajime Mamba**、2022 年準優勝の**土井陵 Takashi Doi** や、昨年の KAI70k で優勝した**田村健人 Kento Tamura** がスタートラインに揃います。男子のレースの展開は激しいものとなりそうです。

KAI70k の女子は日本を代表する 2 人の選手が登場します。**吉住友里 Yuri Yoshizumi** は今年の Transgrancanaria Classic を 6 位でフィッシュしたばかりです。この大会の開催地である富士吉田の在住で富士山頂に登る富士登山競走では現在五連覇中。2022 年の KAI70k で優勝しています。一方、**秋山穂乃果 Honoka Akiyama** は昨年のトレイルランニング世界選手権・ロング種目で 9 位となりました。この大会には初登場となります。アメリカからは 2014 年の Western States のチャンピオン、**ステファニー・ハウ Stephanie Howe** が出場します。加えて、2022 年信越五岳トレイルランニングレース 110km で優勝の**福田恵里佳 Erika Fukuda**、2023 年の白馬国際クラシック 28km 優勝の**富井菜月 Natsuki Tomii**、2023 年の奥信濃 100 100km で 3 位の**岩井絵美 Emi Iwai** も今回の注目選手に加わります。

KAI70k 男子の優勝候補には昨シーズンに阿蘇ボルケーノトレイル 115km や奥信濃 100 100km を制した**長田豪史 Goshi Osada** が挙げられます。上位争いに加わる選手としてはともに最近のトレイルランニング世界選手権で日本代表選手となった経験を持つ**森本幸司 Koji Morimoto**、**横内佑太郎 Yutaro Yokouchi** に期待が集まります。日本のトップ選手の上位グループにスペインのベテラン、**トフォル・カスタンニェール Tofol Castañer** がどのように加わってくるかに注目です。2012 年にモンブランマラソンで準優勝、CCC で優勝、2014 年の UTMB で準優勝しており、この大会にも 2019 年の 100 マイルに参加して 12 位となった経験を持っています。加えて、2023 年の TransJeju by UTMB 50k で優勝の**イ・シンジン Xingjing Li** (中国) や日本の

笠木肇 Hajime Kasagi、吉原稔 Minoru Yoshihara、町田知宏 Tomohiro Machida の活躍が期待されます。

## ライブ配信で上位選手のレース展開と大会の魅力を世界に発信

マウントフジ 100 の開催期間中は「応援 navi」で参加選手を検索して通過状況や位置情報が確認できるほか、「リーダーボード」で各種目の上位 100 選手について通過状況が更新されます。また、IBUKIGPS では、FUJI100mi のエリートアスリート及び IBKIGPS 所持者の位置情報が確認できます。

大会中、各選手の位置、順位、走行時間などの状況に関しては以下のサイトをご確認ください。

**応援 navi** <https://v2.ouennavi.jp/teaser/?eid=000000000338673>

**リーダーボード** [https://leaderboard.runnet.jp/?tri=02524\\_20240426\\_01](https://leaderboard.runnet.jp/?tri=02524_20240426_01)

公開：4月26日（金）0:00～4月28日（日）23:59

**IBUKIGPS\*** <https://ibuki.run/ev/8963646647679083605/>

\*FUJI100mi のエリートアスリート及び IBUKIGPS 所持者のみ

FUJI100mi のスタート直前の4月25日（木）の深夜から、翌日の上位選手がフィニッシュする4月26日（金）の深夜まで日本語版と英語版のライブ番組を配信します。番組はエイドやコースからの中継も交えた映像に日本語と英語それぞれの解説を加えて配信する予定です。

**日本語版：マウントフジ 100 公式 YouTube チャンネル**

<https://www.youtube.com/@mtfuji100>

**英語版：Gran Canaria World Trail Majors 公式 YouTube チャンネル**

<https://www.youtube.com/@WorldTrailMajors>

このほか、マウントフジ 100 のソーシャルメディアでは大会の様子や情報を随時発信します。

**Instagram:** <https://www.instagram.com/mt.fuji100/>

**Facebook:** <https://www.facebook.com/Mt.FUJI100/>

**X:** <https://twitter.com/MtFUJI100>

## グランカナリアワールドトレイルメジャーズについて

ワールドトレイルメジャーズは、トレイルランニングの本来の精神を守ることを目的とし、多様で持続可能かつ敬意を持ってスポーツを促進することを目的とし、10の独立したトレイルランニングレースによって設立された非営利団体です。この協会は、Anta Hong Kong 100 ウルトラマラソン、ブラックキャニオン・ウルトラ、The North Face トランスグランカナリア（スペイン）、Mt.Fuji100、MIUT-マデイラアイランドウルトラトレイル（ポルトガル）、スイスキャニオントレイル、サウスダウンスウェイ 100（英）、ケベックメガトレイル（カナダ）、グランレイドピレネー（仏）、RMB ウルトラトレイルケープタウン（南ア）によって結成されています。2024年がこのレースシリーズの初年度となります。

グランカナリアワールドトレイルメジャーズについてのお問い合わせはこちら

E-mail : [press@worldtrailmajors.com](mailto:press@worldtrailmajors.com)

Web: <https://worldtrailmajors.com/>

メディア向け資料、画像はこちらからダウンロードしてご利用ください。

<https://drive.google.com/drive/u/0/folders/1MCJ3AwKTj-ul85HK2euPdIX9MjOcBkOF>

SNSはこちら

Facebook: <https://www.facebook.com/profile.php?id=100094819887205>

Instagram: <https://www.instagram.com/worldtrailmajors/>

Twitter/X: <https://twitter.com/worldtrailmajrs>

YouTube: <https://www.youtube.com/@WorldTrailMajors>

TikTok: <https://www.tiktok.com/@worldtrailmajors>

### 本件に関するお問い合わせ先

Mt.FUJI100 実行委員会事務局

〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺 955-1

電話 : 0558-80-9700 FAX : 0558-80-9207

E-mail : [press@mtfujii100.com](mailto:press@mtfujii100.com)

大会ウェブサイト : <https://mtfujii100.com>

大会 Facebook : <https://www.facebook.com/Mt.FUJI100/>

大会 X : <https://twitter.com/MtFUJI100>

大会 Instagram : <https://www.instagram.com/mt.fuji100/>

大会 YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCYTG7HNLx89OeaOsknc6mTg/featured>

\* プレスリリースのバックナンバーはこちらからご覧ください : <https://mtfujii100.com/press/>

\* プレス用大会公式写真をご覧になりたい方は上記事務局までお問い合わせください。

